

# 会報 うでまくり

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

## みんなでトライしましょう！

福島県女性経営者プラザ

会長 上石 美代子



先日、三浦会計事務所主催、福島県女性経営者プラザ（FJJP）共催で「跡取り娘のマナビ」を開催致しました。FJJPから佐藤直美さんと私がパネラーとして参加し無事に終了致しました。何か一つでも参加者のお役に立つことが有れば、という思いでファシリテーターの小林先生に質問されてお答え致しましたが、終わってみると私が歩んで来た道を振り返るものでした。一番思う有難いことは、沢山の困難もございましたが、その時、その時に力を貸してくださった方、相談に乗ってくださった方、

また笑顔にしてくださいました方が傍に居てくれたことです。今もこれはどうしようと思つた時に浮かぶ友人、知人がいるのです。改めて感謝申し上げます次第です。そしてこれからお世話になると思いますので、宜しくお願い致します。

FJJPの会長を仰せつかって2期目も終わりに近づきました。先日の例会で、会長を調子に乗ってお引き受けし、「ブタもおだてりや木に登る」状態です。と例えたところですが、本来の意味からすると、能力以上のことをやり遂げなければオチにならないわけです。FJJPもたくさんさんの若い会員を迎え、今回初めて「出産祝い」をお渡しすることが出来ます。本当におめでとうございます。

### ◆FJJPの目的◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

ところで、いま流行のモノマネのりんごちゃん男性か女性か直ぐに分かりますか？ 30代まではすぐに分かるのですが、それ以上はちょっと迷うようです。「男性だと思っけどもしかしたら女性なの？」と先日、わたくしの事務所でもその会話がりました（ちなみに男性ですよ！）。世代によって色々と感じ方が違うことの表れですね。世代を超えてFJJPの例会に出席して良かったと思っけいたたく為に、ラグビー・ワールドカップ（W杯）のキャンペーンでいわき市にサモア代表がいましてますが、ラグビーなどの言葉「One for All, All for One」一人はみんなのために、みんなは一人のために協力致しましょう。「経営者の自己研鑽、資質向上を図りながら、個々の経営の発展と、女性経営者の立場から情報発信できるネットワークを確立する」というFJJPの目的にトライしてまいりましょう！ FJJPの基幹事業の女子学生作文募集も今回で6回目です。

### ●うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJJP、女の腕まくりの真価はこれから！

す。活性化しながら前進して参りますので、皆様のご支援、ご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。入会希望の方もお待ちしております。



8月移動例会交流会にて（2019.7.23 玉川村）

新入会員  
募集中!!



# ◆第24回 定時総会開催

◆2019年5月21日(火) 12時  
◆郡山市・ホテルハマツ

令和元年最初の総会「第24回定時総会」が、会員47人(内、委任状提出11人)の出席を得て開催した。

## ■新しい時代へパワーを発信したい

「初代会長が四季彩一力の小口潔子さん、二代目が現在も監事の三田公美子さんと、迫力あふれる先輩方で、会の基礎づくりをリードした。総会記念講演会、公開講演会には毎回ときの人を招いて対外的認知度を高めた。

私は4代目である。諸先輩が大事に創り上げてきたことを守り、時代の変化にも柔軟に対応していきたい。これからは和気あいあいと学び、パワーを発信していく」と上石会長のご挨拶で



佐藤和江監事による開会の言葉



上石美代子会長のあいさつ

## ■中小企業の代弁者でありたい

来賓は昨年もお臨席を賜った福島県中小企業団体中央会副会長兼専務理事熊本俊博氏。熊本氏からは「令和に変わり、中小企業は変化に柔軟に対応して生き残っていかねばならない。



来賓の熊本俊博氏

経営ビジョンはぶれず、事業ドメインをローリングしてやってほしい。中小企業の代弁者として、支援をしていきたい」と、力強く温かいお言葉をいただいた。

## ■会員50人を目指して

進行は古川節子総務委員長、野地千尋副委員長。会長を議長に、第1号議案2018年度事業報告並びに収支決算報告(監査報告)、第2号議案2019年度事業計画並びに収支予算が報告された。新年度の会費収入は会員数50名を目標(前年度4名増)。第6回目の実施となる作文募集事業に関しては、協賛金収入を前年度同様170万円見込んでいます。全て原案通り承認された。議事録署名人は、菊地京子会員、佐藤直美会員の2名。尚、新年度作文事業の財務基盤を強固にする狙いから、10月に有料チケット販売を伴う一般公開講座の開催を予定している。



事務局案を読み上げる野地総務副委員長(左)

現時点の集客数等明確になっていないため収支計画案からは除外し、作文事業全体の収支に算入させ決算する予定。

## ■FJPも新しいステージへ

FJPでは、「福島の未来に向けて女性経営者を育てよう」「みんな仲良く心ひとつに！」と年度テーマを掲げ、ここを一つに事業を着実に進めてきた。新年度は、「新しいステージへ」である。背景には、元号が変わったこと、そして、女子学生作文募集事業を今後継続するかどうか数回にわたって議論を重ねた結果、「継続実施」を決めたこと。協賛企業獲得など厳しい状況の中、会員協力の負担も大きくなるが、作文事業が重要な事業の柱として、重要性を増しているという認識で一致した。

新しい会員も増えてきたことから、事業も組織も「新しいステージへ」。最善を尽くさなければならぬ重要な年度といえる。



第6回女子学生作文募集ポスター

5月総会記念講演

# 日本経済および福島経済の論点

講師 日本銀行福島支店長 中山 興氏



### ※講師プロフィール

兵庫県出身。平成5年3月東京大学経済学部卒業、同年4月日本銀行入行。国際局、調査統計局、大阪支店、金融市場局等企画役、同26年調査統計局経済統計課長、金融研究所経済ファイナンス研究課長を経て、同30年6月13日福島支店長。

### ■世界経済成長の見通し

女性経営者の皆さんに最新情報で説明したいと思い、2019年4月時点のデータをお持ちしました。

IMF（国際通貨基金）世界経済の見通しでは、先進国1.8%、新興国・途上国4.4%、世界計3.3%。新興アジアの中国は2018年実績6.6%が6.3%と減速、インドは7.1%から7.3%になり、2021年見通しでも7.7%へ。世界全体では3%台半ばで、経済的かつ効率の良い巡航速度で動いています。予測を左右する輸出環境を包括的にモニタリングする指標をスコア化し、輸出環境のヒートマップを作成しました。経済の悪化状態を把握することができます。1999年ロシア危機、2

001年ITバブル崩壊、2008年リーマンショック、2012年欧州債務超過など、経済の悪化を予測する場合にも有効でした。

現在のヒートマップをみると、将来に実質輸出が大きく落ち込むというシグナル発生している国は、中国の金属加工機械生産台数です。日本でも新規輸出受注指数、機械受注外需の電子・通信機械が弱いシグナル発生がみられ、これから動向を注視する必要があることがわかります。

### ■景気が良くなったという実感

わが国の実質GDPと需給ギャップのデータからみると、総じて回復基調であります。だが、多くの人は景気が良くなったという実感はもっていないように思

います。それはなぜか。2000年と比較して、2018年は女性の労働参加が約86万人増え、男性は410万人減少し、65歳以上の高齢者が377万人増えました。高い給与の男性社員は減少し、女性や高齢者が労働に参加するようになり、全体的に雇用者数はアップしましたが、女性の労働は賃金弾力性が高く、平均所得は少しもアップしない。良くなったという実感が出てこない理由の1つと思います。

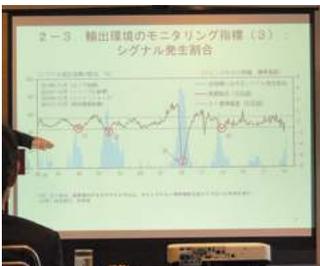
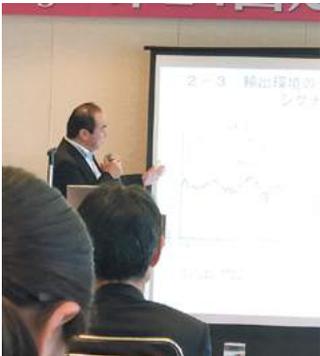
### ■福島は概ね所得回復か

福島は震災から8年を経て、かなり落ち着きをみせています。1人当たりの実質GDP成長率をみると、2012年8%を超え、2015年マイナスに転じ、翌年から1%台に回復しています。東北6県の中では、岩手や秋田を大きく引き離し、宮城県と同レベルの成長です。大型小売店売上高、乗用車新車

登録台数は全国平均を上回り、有効求人倍率も1.5強（全国1.6）と高い。「総じてみれば緩かに回復」といえます。今後は、ここ数年増えてきた「企業倒産」に要注意です。

### Point 講義のポイント

- 1 世界経済…中国経済減速や世界的な情報関連財の生産調整を背景に、2019年はいったん**3%台前半まで減速**する。その後は3%半ばの巡航速度に復する見込みである。
- 2 日本経済…**セクターショック**が発生しているが、業種横断的な広がりには至っていない。实体经济の**前向きな循環メカニズムが持続**。
- 3 福島経済…一部に弱さが残るものの、労働市場の改善を背景に、総じてみれば**緩やかな回復**。



### 6月定例会

2019年6月18日(火)  
場所…茶寮おりおり(福島市)

### 児童養護施設の子どもたち

講師…社会福祉法人ゆめみの里  
理事長 熊田 富美子氏



### ●森の風学園を創った思い

児童養護施設に入所している子どもの内約6割は虐待を受けている(2013年児童養護施設入所児童等調査結果)。全国で見ると虐待を受けた子が1999年1万1千631人、2017年13万3千776人となり、この間約11.5倍に増えていることに驚いた。身体的虐待(35.3%)、心理的虐待(33.6%)、ネグレクト(28.9%)、性的虐待(2.2%)まで悲惨だと感じた。さらに虐待者の57.8%が「実母」であることも悲しかった。虐待される子の年齢を見ると「小学生」(35.2%)、「3歳〜学齢前」(24.7%)、「0歳〜3歳未満」(18.8%)の順で小さい子が目立つ。虐待や暴力で悩む親子のために何かできないか、とずっと考えていた。そして、2014年玉川村にゆめみの里を設立した。

### ■熊田富美子氏プロフィール

杉の子幼稚園勤務、ピアノ講師を経て、1999年〜2002年NPO法人フー太郎の森基金エチオピア駐在員、帰国後はNPO法人こどもの森理事長、地域保育園キンドールム森宿園長、2013年社会福祉法人ゆめみの里設立理事長就任、2014年児童擁護施設森の風学園開園、園長就任、現在に至る。

笑顔がわからない子や5歳になってもオムツが取れない子、おしりの拭き方がわからない子、身体が自分で洗えない子、本の頁がめくれない中学生もいて、最初は驚くことばかり。大人から何かしてもらった経験がない。人と触れ合った経験や大事にされた経験が乏しいので、すぐに暴力的になる。

設立から7年。職員が子どもと日々触れ合い、仲間と協調し合う大事さを教えている。潜在的な力を伸ばせる環境づくりを目指し、生徒指導や学習指導に力を入れている。大人の熱心さと深い愛情があれば、子どもは必ず変わる。「笑う」がわからなかった子が、誰よりも笑い、思いやる心を取り戻す。森の風は自然に囲まれ、育みやすい環境だと思っているので、頑張つて維持していきたい。マンスリーサポートを開始し、寄付を募り、支援者の輪を広げている。FJPの皆様にも暖かいご支援をお願いします。(文責・会田和子)

### 7月野外例会

6月例会の講師

熊田富美子さんが立ち上げた社会福祉法人ゆめみの里を視察。7月23日(火)、参加会員22名が玉川村にある現地に集合した。



「美しい大自然の中に、一人ひとりの子供の成長に添った教育を」というシュタイナー思想に基づいて建築されたという施設(管理棟、心理棟、居住棟)を視察した。視察後は熊田理事長を囲んで懇談。熊田理事長からお茶と美味しいお菓子をご用意いただき、有意義な交流を図ることができた。昼食会(隣



居住棟=過敏症にやさしい3棟の家に、2歳から18歳までの児童30名が10人のユニットで暮らす。母屋、親子訓練室があり、家族のように生活し、子どもたちの自立を支援している。

接の食堂)後、玉川村道の駅に立ち寄り、解散。  
大自然の貴重な体験に学び、癒された視察会となった。



木蓮庵(心理棟・フリースペース)外界からの刺激に敏感な子どもを落ち着かせる効果を狙って作られた窓枠が印象的。子どもの悩みや相談を聞くときは座って目線を同じにして対話する



芸術療法室=熊田理事長と車座で歓談。桃色の壁が印象的。桃色は幸せな気持ち、優しい気持ちになれるという心理的効果が大きいとか。



### 8月各委員会報告

#### ● 事業委員会

8月6日、郡山市「宴庭燦」において、三田監事・佐藤監事にもご出席いただき、また新会員（山田より子さん・杉原明美さん・渡辺薫さん）も参加して総勢10名で開催しました。

これから「第6回女子学生懸賞作文事業」「中型講演会」という大きな事業を控えており、このふたつの事業と9月例会の宴会芸について、話し合いを持ちました。

まずは、「女子学生懸賞作文事業」での選考委員5名を選出。新会員の方も積極的に立候補してください、スムーズに5名を決定。次に10月5日に控える中型講演会について、三田監事



から詳細（講師・寺島実郎氏・チケツト代・2000円・会場・ホテルハマツ）を伺いましたが、テキスト購入の件は予算の関係

上、もう一度三田監事から交渉していただくことになりました。

最後に9月例会における宴会芸の話はヒ・ミ・ツ。

これからの大きな二つの事業がございまずので、事業委員会として気を引き締めて取り組みたいと思っております。皆様のご指導・ご協力をお願いいたします。（副委員長 古川文字記）

#### ● 交流・広報委員会



8月6日（火）11・30より、須賀川市にある割烹「万松」で実施。12名の会員が参加。中村会員の新社屋移転のお祝いを兼ねて実施した。（中村会員には、委員会からお酒1本と三越のお菓子をプレゼント）

※会議の内容は以下の通り。  
**報告事項**…入会者（菅野、渡辺、永峰の3名）、退会者（山本、吉田の2名）

#### ■ 女子学生作文募集事業関連

- ① 10/31（木）募集締切り
- ② 11月上旬・1次選考（広報からは横山・会田・澤上・長尾・高橋の5名。
- ③ 12月2日（月）公開審査会／福島

民報社

④ 2月1日（土）作品発表会&表彰式  
 ／福島民報社

#### ■ 公開講演会関連

日時10月5日（土） 11：00～12：30  
 ・講師 寺島実郎氏  
 ・場所 ホテルハマツ（郡山市）  
**■ 第21号うでまくり編集**…9月30日発行予定

その他、かくし芸をどうするかは参加予定者が少ないことがわかり、参加可能な澤上副委員長と高橋会員が知恵を出してくれることに。

最後に、会員から近況など報告し合つて終了となりました。

**■ 会員から一言紹介**（写真・右から）  
**高橋会員**「ゴルフは口角を挙げてやると上達します」  
**影山会員**「病気で退会も考えたが、上石会長に元気をもらい、80代になつても続けたいと思っています」



**上石会長**  
 「初めての例会出席の時、シャイな私に最初に声をかけてくれたのが影山さんでした」

**横山副会長**「万松のお食事は大変美味しい。来た甲斐がありました」

**澤上副委員長**「会長はじめ皆心遣いと思いやりにあふれている。パワーになります」



（写真右から）  
**宮坂会員**「三田監事のスムーズで入会。イベントに忙しく、現場を走り回っていました」  
**長尾会員**「一生現役でい

く！と決めました」  
**伊藤会員**「20代の頃から三田監事が地元を応援してくれたことが忘れられない」

**佐藤直美会員**「皆さん手を前に出してみて。小指の開き方で財を成せるか占いができます」

**佐藤君榮会員**「FJPは個性的でファッションが皆オシャレ」

**中村会員**「今回幹事を担当しました。万松の食事はいかがでしたか。気に入ってもらえるかドキドキでしたが、大変楽しい時間でした」

（委員長・会田和子記）

### 9月定例会

2019年9月8日(日)～9日(月)  
場所：陽日の郷あづま館(二本松市)

二本松市岳温泉・陽日の郷あづま館において一泊二日で開催。参加者22名。プログラムは、理事会、定例会、座談会(座長三田監事)、夕食会の4部構成。

■座談会——座長・三田公美子  
テーマ「FJPのいま、これから」

#### ●岳温泉とニコニコ共和国

三田監事から、二本松市岳温泉の「ニコニコ共和国」の話聞く。1982年に日本国から独立し、2006年統合されるまで、「ニコニコ共和国」という独立国が存在した。新幹線が郡山に来ることが決まり、岳温泉に夏も冬も人が来なくなるという危機感が強まり、独立国を創ることになったという。中身は地中海西部のバレアレス海に浮かぶマジョルカ島地中海クラブ等をお手本に知恵を出し合った。コスモス紙幣を流通させたり、ヒマラヤ杉で国境を設けたり、暗く行き止り感の強かった温泉地を元気にしたという。発想と勇気があれば何でも実現できる!! ネット検索すると『共和国』復活を願う声が多く寄せられていて感動した。

#### ●FJPに期待すること

昭和の時代から、平成、令和の時代になり、女性経営者はどういう方向でやっていけばいいのか。三田監事の進行で、FJP未来にむけて意見交換を行った。「FJPはその時その時で変わる。清い流れに沿って人に寄り添いながらやっていきたい」と上石会長。紺野副会長は、「いつでも一生懸命やっているのがFJPだと思う。これからも異業種の女性経営者と手を取り合っ て人間力を高めていきたい」。

力強い先輩からのメッセージに心打たれる。「地域経済をつないでいくのは女性しかいない」という三田監事の言葉を重く受け止めながら、皆真剣にFJPの未来を考えている。つながる、出合う、高め合うが共通の期待するワードになっている。後半戦も乗り切れる逞しさに期待高まるFJPでした。



### 跡取り娘のマナビバ in 郡山2019

日時：2019.9.9(月) 10:00～  
場所：Café & Restaurants ルルペバン  
主催：税理士法人 三部会計事務所  
協働グッドビジネスパートナーズ  
共催：福島県女性経営者プラザ

▼パネラーⅡ上石美代子(郡山トラック運送(株))、佐藤直美(有ゼスト)、樽川智香子(アルファ電子(株))

▼ファシリテーターⅡ小林博之氏

#### ●共催企画に参加して：紺野 涼

台風15号が東北地方に接近、学校は休校となり雨足がひどくなっていく中「マナビバ」が予定通り、開催されるのかと心配しながら会場へ。着くやいなや、会場内は台風をも跳ね返すかのようなパワーで積極的な名刺交換が行われていた。さすがに女性経営者の皆様方は元気で華やか！FJPも負けてはいないと思うのだが…笑

三部会計事務所所長・三部吉久氏の開会挨拶の後、小林氏が我が社で今一番気になっている「事業承継」についてお話しされた。

パネルトークのテーマは、①『経営者になった経緯』、②『会社の経費で一番気を付けていること』、③『女性

が)経営するうえでの悩み、その克服事例』、④『会社をどう持続発展させていくのか』の4つ。どのパネラーも、話しくいことでも包み隠さず正直に話そうとする姿勢が感じられ、好感が持てるトークでした。『与えれば与えられる』精神！令和の『和』のように互いを尊重し、思いやる優しい時代に移行できる企業が生き残れるなど、示唆に富んだ内容で有益な勉強会でした。

FJPの上石会長は、亡きお父様が残してくれた言葉に感極まり涙を流す場面もあり、聴講者も思わず目頭を押さえる場面も：感動的でした。

改めて、『女性経営者はいいな』と感じると同時に、令和の時代は愛溢れる企業(経営者)を目指していかなければと強く感じました。



樽川千香子さん 佐藤直美さん 上石美代子さん



# 新会員ご紹介

福島トヨタ自動車(株)経理部  
経理グループリーダー

菅野 佐和子さん  
(総務委員会)



ご縁があつて古川節子委員長のご紹介で7月より入会させて頂きました。

短大を卒業し、福島トヨタへ入社してから25年間、本社経理部に所属。現在は、社内で初の女性基幹職という役職を頂き、部下の育成はもちろん、県内に22ある店舗の経理担当者の指導もさせて頂いております。

そして家では、高校受験真つ只中の中学3年生の長男、わんぱく小学3年生の二男と2人の子育てで、きつと今が人生で一番頑張らなければいけない時期なんだと自分を奮い立たせる毎日です。

本社勤務でも土日は出勤、休みであつても子どもの行事などに合わせて申請するため、なかなか定例会等へ参加できずに申し訳ございません。なるべく日程の都合がつく際には出席させて頂いただければと思っております。今後とも何卒よろしくお願ひ致します。

株式会社 渡辺 薫さん  
ワタナベ・ビジネス・サポート代表取締役

事業委員会



本宮市の国道4号沿いで主に金属リサイクル業を営んでおります。また、主人

と立ち上げた税理士事務所の会計法人の代表も兼務しております。毎日忙しく過ごして参りましたが、この度縁あつてFJPに入会させて頂いた、期待と共に身の引き締まる思いです。

オプザーバーとして聞かせていただいた本宮の歴史やゆめみの里でのお話は、大変興味深く、何より皆様の企画力と行動力の素晴らしさに圧倒されてしまいました。生き生きと活動されていらつしやる様子も、会の魅力を物語っているとします。皆様に出会えたことに感謝し、刺激を頂きながら、FJP活動をしていきたいと思ひます。ご指導を宜しくお願ひ申し上げます。

## 未来に向かって一緒に夢を語りませんか

トライ&チャレンジ精神の豊かな仲間たちが、あなたをお待ちしています。



福島県女性経営者プラザ  
963-0202 郡山市柏山町3  
TEL 024-961-8822  
http://fjp-net.com/

## ふくしまの自慢 ⑧ 古川文子

### 『狛犬』という芸術

神社やお寺の参道に鎮座する「狛犬」、福島県南地方には、江戸時代から昭和にかけて「狛犬」を卓越した技術力で芸術性の高い作品にまで押し上げた小松利平・小松寅吉・小林和平という三人の石工による作品が数多く存在する。

小松寅吉の「飛翔狛犬」(西白河郡中島村川田神社)は、雲とそれに乗った獅子と一緒に彫り出した狛犬である。繊細な細工や模様が引き立ち躍動感溢れる狛犬が一枚の巨岩から全て手作業で彫り出されたものだと知ると、その技術力の高さに深い感動を覚える。石であるが故に失敗は許されないのである。



県南地方の神社へ詣でる際は、是非「狛犬」芸術を鑑賞してはどうかだろう。

## 株式会社 中村建運 を訪問

2003年9月、中村会員が創業。16年目の念願通り、従来分散していた事務所、倉庫、駐車場を一か所に集約した新社屋が完成。敷地面積約5000㎡(約1500坪)。事務所棟に加え一時保管倉庫及び荷捌場等の建物約1800㎡(約550坪)が集約されたことで、管理機能が強化され、業務の効率化が大きく改善されたと話す中村会員。36台の車両をフル稼働させ、運送事業の他に、一時保管倉庫・荷捌場における荷役作業・お届けお預かりなどの集配業務、利用運送事業など3業務を手掛けている。



8月交流委員会に出席したメンバーが視察しました。

2019.9.8 (土)  
FJP かくし芸大会

# FJPのパワー!

場所  
二本松市岳温泉  
陽日の郷 あづま館

総務委員会



事業委員会



交流・広報委員会



FJP 久しぶりの公開講演会 本気で勉強しようよ。みんな、TBSサンデーモーニングなどでおなじみの寺島実郎先生が「郡山に!!」

「これからの世界と日本、そして地域」

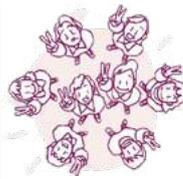
講師プロフィール 寺島 実郎 (Jissho Terashima)

【一社】日本総合研究所会長  
多摩大学学長  
寺島 実郎 先生  
令和元年  
10月5日(土)  
11:00~12:30  
ホテルハマツ 3階「左近」  
〒963-8679 福島県郡山市虎丸町2番18号  
TEL:024-255-1111 FAX:024-255-1000

2,000円

主催/(一社)福島県女性経営者プラザ 後援/福島県中小企業団体中央会

info@fjp-net.com http://fjp-net.com



## ◆総務委員会より

総会、女子学生作文募集の資料作成等の忙しさが終わりホッとしたのもつかの間でした。総務は毎月の定例会の案内、理事会・定例会の準備、資料作成と結構忙しい委員会です。みなさんのご協力に心より感謝申し上げます。8月各委員会は、8月7日に上石会長ご出席のもと、二本松ドリームで開催(なぜ、いつも夜...?)。作文募集における委員会内審査員5名の選出に向けての協力、10月講演会について話し合いました。

更に、9月例会における恒例FJP かくし芸大会の出し物についての打ち

合わせをし、今年は阿波踊りに決定。何事にも全力で取り組むFJP魂の見せどころ!と、一致団結。その他、委員会費の中から、7月に訪問した児童養護施設「ゆめみの里」に寄付をする事について出席者に諮り、全員の同意をいただきました。後半も、FJPの潤滑油としてスムーズな運営に努めて参ります。更なる皆様のご協力をお願い致します。(総務委員長・古川節子)



## ■編集後記

いわき市は健康元年。健康指標が県内13市中最下位だそうで、健康長寿を実現していくのだという。病んでいるのは身体だけではない。雑草も廃棄物も放置状態でまち環境も病んでいる。(会田和子)